

人権・同和問題啓発標語

**暴言は
自分の心も
傷つける**



人権文化をすすめよう
～平成30年度宝同協入選作品～

ひらい人権文化
センターだより



発行
宝塚市立ひらい人権文化センター
宝塚市平井6丁目3番38号
電話:88-2795
ファックス:88-2774

ひらいじんけん検索



新型コロナウイルス 感染症について

新型コロナウイルスの感染予防について

新型コロナウイルスとは

コロナウイルスとは、人や動物の間で広く感染症を引き起こすウイルスです。人に感染症を引き起こすコロナウイルスは7種類あり、4種類は通常の風邪などの症状にとどまりますが、残りの3種類は深刻な呼吸器疾患を引き起こします。その3種類は、サース、マーズ、そして今回、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルスです。

この新型コロナウイルスに感染した人は世界中で約784万人、死者は43万人(6月15日現在)と言われ、サース感染者の約8000人、死者約780人、マーズ感染者の約2500人、死者860人に比べいかに感染力が強いか分かりません。

この新型コロナウイルスに感染した人の約80%は軽症で済み、また、症状が出ない人もいますが、症状がでなくても人にうつすこともあり、気付かないうちに感染が拡大していきます。このウイルスの厄介な所は、①感染した自覚のないまま感染を拡げること②治療するための薬や予防するためのワクチンがないことです。

どうやって感染するの?

感染方法は、今のところ、飛沫感染と接触感染の2つが考えられます。

(1) 飛沫感染: 感染者のくしゃみ、咳、つば等と一緒にウイルスが出され、他者がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。※主な感染場所: 学校や劇場、満員電車などの人が多く集まる場所

(2) 接触感染: 感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスが付き、未感染者がその部分に手を触れて感染します。※主な感染場所: 電車やバスのつり革、ドアノブ、手すり、電気のスイッチなど

感染拡大を防ぐには

手洗いは、流水だけでも有効ですが、石けんを使った手洗いは更に有効です。手洗いの際は、指先、指の間、手首、手のしわ等に汚れが残りがちなので、その部分は特に念入りに洗うことが重要です。また、流水と石けんでの手洗いができない時は、手指消毒用アルコールの使用も感染予防に有効です。

新型コロナウイルスに感染しないようにするために

感染経路を断つことが大事です。そのためには

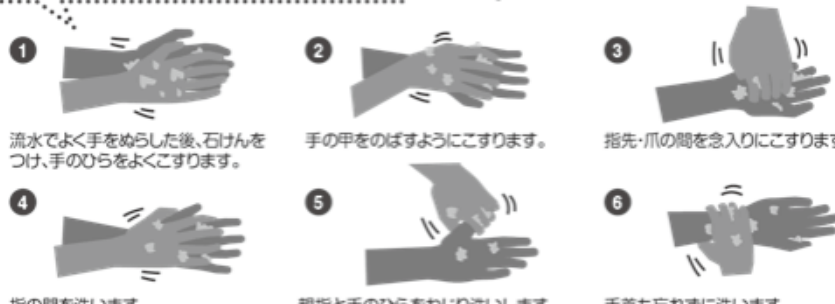
- ① 手を清潔に保ちましょう。石けんですすいで洗いを行うか、手指消毒用アルコールで消毒を行いましょ。
- ② 外出するときはマスクを着用し、家の中でも咳エチケットを心がけましょ。
- ③ 家や仕事場の換気を十分に行いましょ。
- ④ 栄養と睡眠を十分にとり、抵抗力を高めておきましょ。
- ⑤ 「3つの密(密閉・密集・密接)」を避けましょ。

※3つの密の場所とは、

1. 密閉空間(換気の悪い密閉空間である)
2. 密集場所(多くの人が密集している)
3. 密接場面(互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や共同行為が行われる)

という3つの条件のある場合は、感染拡大のリスクが高いと考えられています。屋外でも、密集・密接には注意し、人混みや近距離での会話、特に大きな声を出すことは避けましょ。

正しい手の洗い方



① 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

② 手の甲をのばすようにこすります。

③ 指先・爪の間を念入りにこすります。

④ 指の間を洗います。

⑤ 親指と手のひらをねじり洗います。

⑥ 手首も忘れずに洗います。

手洗いのポイント: 爪は短く切っておきましょ、時計や指輪は外しておきましょ

石けんを洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

図書室からののお知らせ

センター別館1階の図書室は、新型コロナウイルスの影響で閉室していましたが、国からの「緊急事態宣言」が解除されたことにより5月25日(月)から開室しました。しかし、これからも、感染拡大の第2波の恐れもあり、まだまだ予断を許さない、安心できない状況です。

そこで、しばらくの間、図書室を利用する時は、

- ① マスクを着用してください。
- ② アルコールで消毒してから入室してください。
(図書室入口に消毒用アルコールを置いてますので、ご利用ください。)
- ③ 一度に5人以上図書室に入らないでください。
(6人目の人は図書室の外で待ってください。)
- ④ 図書室内で本を読むことはご遠慮ください。
(しばらくの間は、図書の貸し出しと返却の利用となります。)

皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

図書室の開いている日・開いている時間

月曜日～金曜日 午後1時～午後5時

土曜日 午前9時15分～午後5時(午後0時～午後0時45分はお昼休み)

図書室がお休みの日

日曜日・祝日、12月29日～1月3日、文化祭等センターが定める日

おしらせ ひらいおはなし会

毎年、ひらい人権文化センターでは、文化祭でのおはなし会も含めて、年6回のおはなし会を予定しています。今年度も5月に第1回目のおはなし会を「おはなしコスモス」さんに、していただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症が広がっている状況を受けて、感染の拡大防止と参加者の皆さんの安全を考えた結果、5月12日・7月7日のおはなし会を中止することになりました。

<今後の予定>

日時: 9月1日(火)、12月1日(火)、令和3年3月2日(火)

いずれも「午前10時30分から11時」開催。予約不要。

ただし、今後の状況によっては9月以降のおはなし会を中止する可能性があります。

みなさんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

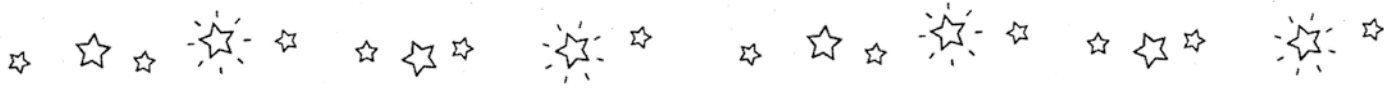
令和2年度(2020年度)定例講座について

今年は新型コロナウイルス感染症の流行により、感染の拡大防止と受講者の健康・安全を優先し、例年5月の開講を、9月以降の開講に延期することになりました。

講座日程や募集の時期などの詳細については今後の状況により決定します。

募集の時期や方法などの詳細事項については決まり次第、市のホームページやセンター前の掲示板などでお知らせします。

本年度の申し込みを予定されていた皆様には、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



★識字教室生徒募集★

文字の読み書きを学び、自分の思いを文字にあらわし、皆に伝えていくことは生活を豊かにします。

識字教室は、大人を対象にしており、「差別の解消を目指し、学んだことを生活に生かして地域文化の向上に努めたい。」という気持ちに応える活動です。

いつでも見学できますので、お気軽にお越しください。

日時：毎週火曜日
午後6時30分～8時

場所：宝塚市立ひらい人権文化センター
別館1階 図書室



★自主学習支援★

センターでは週に各1回程度、支援員(大学生)に来てもらい、学習のサポートをしています。気軽に来て、学習の仕方やわからないところなどを質問してください。

小学生用学習プリントや中学生用問題集も準備しています。

※学習時にもマスクの着用をおねがいします。

小学生対象：午後4時～7時 主に月曜日

中学生対象：午後6時～9時 主に木曜日

※今年度の実施日については、センターまでお問い合わせください。(掲示板でもお知らせします。)

場所：宝塚市立ひらい人権文化センター



職員の紹介

～よろしくお願ひします～

● 新しき職員の紹介

地域の皆さんと一緒に活動していきたく思います。

藤本 隆弘

医療助成課から

～お世話になりました～

● 異動した職員

寺脇 俊次

人権男女共同参画課へ

お問い合わせ：0797-88-2795 ひらい人権文化センター内 学校教育課 村瀬

平井保育所だより

☎ 82-2122

平井保育所
子育て支援事業



★わーくわーくひらっこ★

～皆で一緒に たくさん遊ぼう たくさん学ぼう～

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、平井保育所でも特別保育期間を設けたり、消毒や換気など様々な感染予防を行いながら、感染予防に努めております。ご不便をお掛けしておりますが、今後も子ども達が元気に過ごせるように対応したいと思っております。

世の中の様々な影響はありますが、平井保育所では楽しい体験を通して仲間と共に育ち合う「わーくわーくひらっこ」という活動を続けています。異年齢の子ども達が交流し、遊ぶ事で、思いやりの心やあこがれの気持ちを育み、動植物などの自然に触れ、観察する中で、色々な発見やひらめきを持って欲しいと思っています。その一環として、菜園活動をしています。野菜や草花の世話をする中で興味や関心を持ったり、自分達で育てた野菜を収穫し、友達と協力して料理をして食べる事で、食べ物のおお切さや命のおお切さを感じて欲しいと思っています。また、地域との交流や様々な活動を行い、たくさんの人に支えられて生活していることを感じて欲しいと思っています。

自然体験や実体験を通して、豊かな感性を持ち、仲間と共に力強く生き抜く子どもに育てて欲しいと日々願ひながら、これからも保育を行いたいと思っています。



皆さんの子育てを応援しています!

こんにちは。平井保育所子育て支援担当からのお知らせです。小さい子どもの遊ぶところがない、近所に同じくらいの子どものいないと思われる方はいらっしゃいませんか?

保育所の園庭やひらい人権文化センターに気軽に遊べる場所を用意しています。一度遊びに来てください。お待ちしております。

◎ 園庭開放
毎週月・水・木・金曜日 午前11時～12時 平井保育所園庭
プレイルームのお部屋も開放しています。
月・木曜日のプレイルーム利用は0・1歳児優先
水・金曜日のプレイルーム利用は2・3・4歳児優先

◎ 出前保育
毎週火曜日 午前11時～12時
ひらい人権文化センター本館2階 会議室1

◎ ひよこルーム
毎週火曜日 午後2時半～3時半
ひらい人権文化センター本館2階 会議室1

◎ ミニおはなし会
毎週木曜日 午前10時半～10時50分
ひらい人権文化センター別館1階 図書室

◎ ひらいげんきっこ(リズム遊びなど身体を動かして遊びます。)
月1～2回 午前10時～10時50分
ひらい人権文化センター別館3階 会議室2
(詳しい日程は平井保育所にお問い合わせください。)

*新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて中止することがあります。

～新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮について～

昨年未だに確認された新型コロナウイルス感染症は、まだまだ予断を許しません。

実はこのウイルスが怖いのは「3つの感染症」という顔を持っていることです。知らないうちに私たちも影響をうけていることをご存知ですか?

第1の感染症:「病気」

このウイルスは、感染者との接触でうつり、感染すると風邪の症状や、重症化して肺炎を引き起こすことがあります。

第2の感染症:「不安」

このウイルスは見えません。また、わからないことが多いため、強い不安や恐れを感じ、ふりまわされてしまうことがあります。それらは私たちの中で膨らみ、気づく力・聴く力・自分を支える力を弱め、瞬時に人から人へ「不安」は伝染していきます。

第3の感染症:「差別」

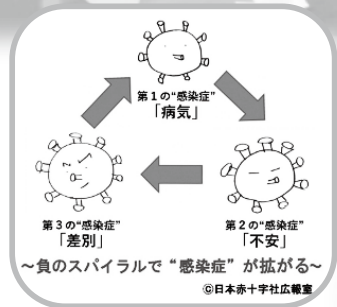
感染の恐れから、感染した方やその家族、感染発生地域の方々、外国人、日々過酷な現場で治療に当たる医療従事者や、私達の生活を支える物流・販売に従事する方たちに対する心ない言動など、不当な差別、偏見、いじめ、誹謗中傷が、報道やインターネット上にたくさん取り上げられています。

不安や恐れは人が生き延びようとする本能を刺激し、嫌悪・偏見・差別は、感染にかかわる人を日常生活から遠ざけることで、つかの間の安心感を得ようとして生まれます。病気が不安を呼び、「危険」といったレッテルを貼ることで更に不安をあまり差別につながってしまうと、本来の敵が見えなくなってしまいます。差別を恐れて熱があっても病院への受診をためらうことが、更なる病気の拡散や治療の手遅れにつながってしまうのです。敵は人ではなく、ウイルスなのです。

このように、この「感染症」の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながる、負のスパイラルが出来上がることです。

このような時だからこそ、不確かな情報に振り回されることなく、冷静に判断・行動する事が大切です。「確かな情報」を拡めましょう。差別的な言動に同調しないようにしましょう。

このウイルスとの戦いは、長期戦になるかもしれません。それぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって負のスパイラルを断ち切りましょう!



(日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!～負のスパイラルを断ち切るため～」より抜粋)